

令和6年12月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

調査船駿河丸によるキンメダイ漁場の海底地形調査を行いました

11月19日から21日にかけて伊豆東岸のキンメダイ漁場「矢筈出し」周辺において、海底地形調査を行いました。これは6月に行った同調査を補完する目的で、調査船駿河丸に搭載されたマルチビームソナー（FURUNO製）を使用し実施したものです。

今回の調査で、矢筈出し周辺の海底地形が、既存の地形図や航路データと比較して、より具体的にはっきりと見えるようになりました。

得られた結果は、漁業を始めて間もない漁業者だけでなくベテランの方々にも十分に利用していただけるものと思います。

伊豆東岸漁場では、過去からキンメダイの資源管理ルールを漁業者自らが話し合い、定めてきた経緯があります。漁業が存続する限り、自主



ルールの実行や内容協議は続いて行くことになるとは思いますが、今回の結果がその一助となることを願います。

水産・海洋研究発表会の開催

11月13日、水産・海洋技術研究所（焼津市）にて、広く県民に研究成果を知っていただくために研究発表会を開催しました。

今年度は本所会議室とWebを併用したハイブリッド方式で開催し、当日は会場に20名、Webで36名の参加がありました。

伊豆分場からは吉川科長が「キンメダイの栽培漁業をめざして～赤ちゃんキンメダイを育てる～」というタイトルで、伊豆分場が2016年から行っているキンメダイ種苗生産研究で得られた成果について発表しました。

この他、最新の駿河丸調査結果や昆虫を餌にしてニジマスを育てる研究等が紹介されました。



↑ 会場での発表の様子

アントクメの採苗試験始めました

11月8日に稲取漁港内でアントクメ天然採苗試験を開始しました。この試験は成熟したアントクメから放出された遊走子をロープなどに付着させ発芽させる方法で行います。昨年は岸壁に沿って4～5mの範囲にロープを設置する方法（図1）で実施し、20個体の採苗に成功しました。今年はより多くの採苗をめざし新たにロープ採苗器（図2）を作成し設置しました。

これから定期的に潜水調査を実施して、昨年よりもアントクメの幼体が高密度に着生するを観察していきます。



図1 2023年に設置した採苗用ロープ

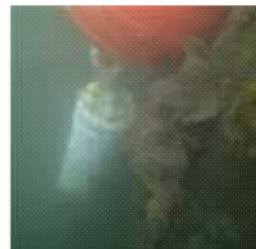


図2 2024年に設置したロープ採苗器

解説 遊走子：海藻の胞子の一種で、鞭毛をもち水中を泳ぐ、ロープ等に着生すると鞭毛を外し発芽する

12月の予定●キンメダイ親魚採捕調査●マサバ・ゴマサバ太平洋系群資源評価会議（4日）●定置協会理事・役員会（6日）●県漁業士役員会（9日）●キンメダイー都三県会議（10日）●卵稚仔分析手法検討会（18日）●漁海況情報分析検討会（19日）●漁海況予報会議（20日）●プリ担当者会議（24日）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス：suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ：https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu

会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。